

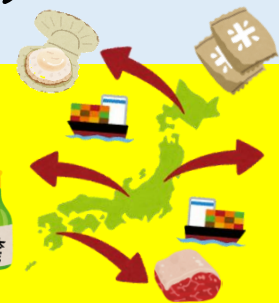
1兆円突破！ (2021年輸出額)
農林水産物・食品の輸出の現状



北陸農政局 消費者の部屋

展示期間：令和4年3月14日（月）～3月31日（木）

農林水産物・食品の輸出の現状



【農林水産物・食品の輸出の現状】①

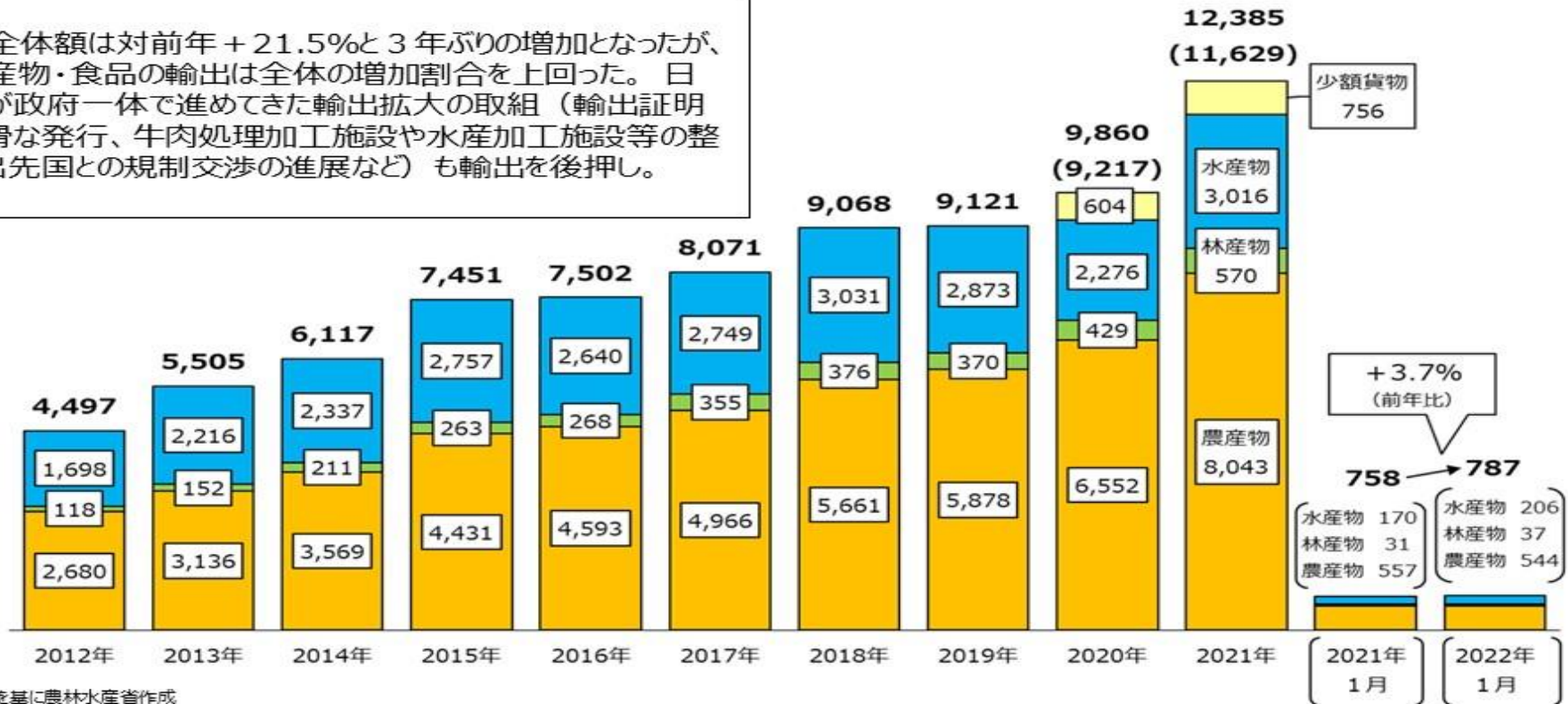
農林水産物・食品 輸出額の推移（全国）

2021年の農林水産物・食品の輸出額は11,629億円（少額貨物除く。前年比+26.2%。少額貨物込みの額では前年比+25.6%）。

9年連続で過去最高額を更新。

（単位：億円）

輸出全体額は対前年+21.5%と3年ぶりの増加となったが、農林水産物・食品の輸出は全体の増加割合を上回った。日本政府が政府一体で進めてきた輸出拡大の取組（輸出証明書の円滑な発行、牛肉処理加工施設や水産加工施設等の整備、輸出先国との規制交渉の進展など）も輸出を後押し。



※ 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

【農林水産物・食品の輸出の現状】②

主な輸出品目・輸出先国の推移

- ・2021年1月-12月において、初めて年間輸出額が1兆円を超えた。世界的に新型コロナウイルスの蔓延が続く中、消費者ニーズの変化に対応した、小売店向けやEC販売等の新たな販路への販売が堅調だったこと、中国や米国等の経済活動が回復傾向に向かい、外食需要も回復してきたこと等で、多くの品目で輸出額が伸び、総額も伸びた。
- ・品目ごとの主な要因として、ホタテ貝、牛肉、ウイスキー等の輸出額の増加が挙げられる。

輸出額の増加が大きい主な品目

品目	増加額（増加率）	主な増加要因
ホタテ貝	+325億円（+104%）	中国、米国等の外食需要の回復や米国内の生産量減少の影響による単価上昇に加え、主産地の北海道での生産が順調で生産量が増加したこと等による数量増加
牛肉	+248億円（+86%）	米国等の外食需要が回復したことに加え、小売店向けやEC販売が好調
ウイスキー	+190億円（+70%）	世界的な知名度向上により、中国等向け単価の上昇や欧米向けに家庭内需要の増加
日本酒	+160億円（+66%）	小売店向けやEC販売の増加に加え、中国、米国等の外食需要の回復
真珠	+95億円（+125%）	新型コロナウイルスの影響で香港の展示会が中止されたことに代わり、直接取引が進行
青果物	+83億円（+28%）	春節時期が例年より遅く、りんご、いちご等の春節需要が2月上旬まで続いたことや、台湾におけるりんごの贈答用や家庭内需要が増加
ぶり	+74億円（+43%）	米国において、外食需要の回復により、冷凍ぶりファイルを中心に2020年落ち込んだ輸出需要が回復
ソース混合調味料	+70億円（+19%）	小売店向けやEC販売の増加に加え、アメリカ、EU向けを中心に外食需要が回復

輸出額の増加が大きい主な国・地域

国・地域	増加額	主な増加品目
中国	+579億円	ホタテ貝、アルコール飲料、丸太
アメリカ	+491億円	アルコール飲料、ぶり、牛肉
台湾	+264億円	りんご、ホタテ貝、アルコール飲料

【農林水産物・食品の輸出の現状】③

新たな農林水産物・食品の輸出額目標

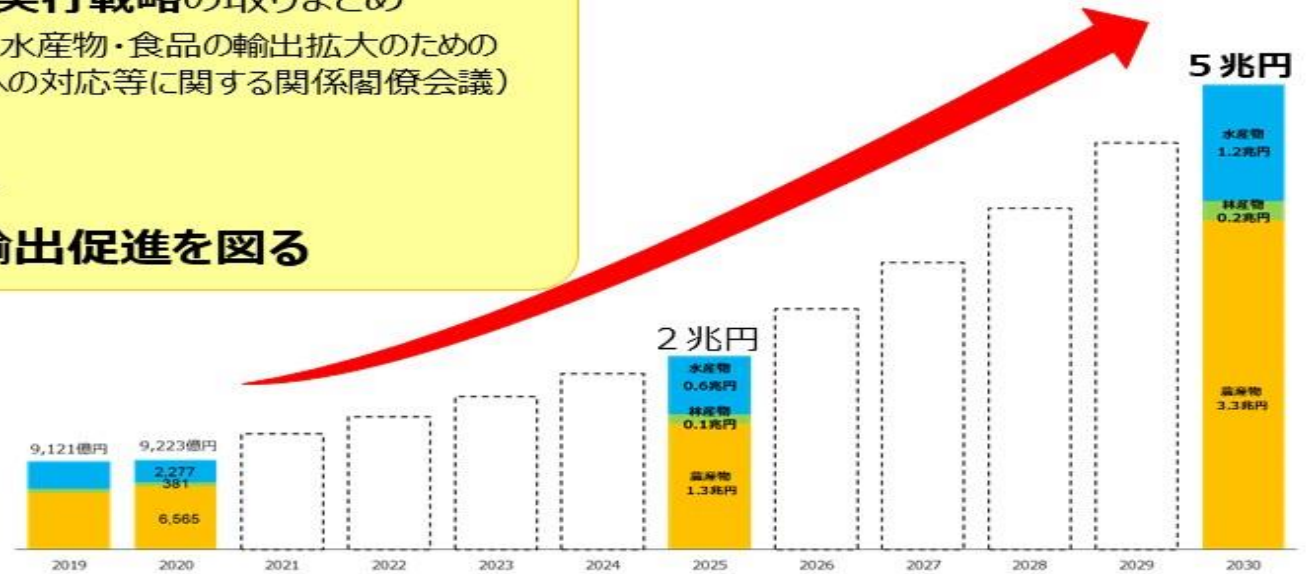
農林水産物・食品の輸出額を、2025年までに**2兆円**、**2030年までに5兆円**とすることを目指す。令和3年12月21日改訂の「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に沿って目標額達成に向けて取り組む。

5兆円目標の達成のために、

- ・ **農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律**（輸出促進法）の施行（令和2年4月1日）
 - ・ **農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略**の取りまとめ
（令和2年11月30日 農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国規制への対応等に関する関係閣僚会議）
- 改訂（令和3年12月21日）



政府一体となって輸出促進を図る



※農林水産物由来の新たな加工品及び少額貨物（1ロット20万円以下）を新たに輸出額のカウントに追加（上記の内訳には含まれない）

【農林水産物・食品の輸出の現状】④

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略（R3年12月改訂）について

戦略の趣旨

- 2025年2兆円・2030年5兆円目標の達成は、海外市場で求められるスペック（量・価格・品質・規格）の産品を専門的・継続的に生産・販売する（＝「マーケットイン」）体制整備が不可欠

改訂の概要

- 輸出拡大実行戦略フォローアップ（R3年5月）で掲げた具体的な対応策などを踏まえ、R4年度に実施する施策、R5年度以降の実施に向け検討する施策について、その方向性を決定

3つの基本的な考え方と具体的施策

1. 日本の強みを最大限に発揮するための取組

- ① 輸出重点品目(28品目)と輸出目標の設定
- ② 重点品目に係るターゲット国・地域、輸出目標、手段の明確化
- ③ 品目団体の組織化とその取組の強化
- ④ 輸出先国における専門的・継続的な支援体制の強化
- ⑤ JETRO・JFOODOと品目団体等の連携
- ⑥ 日本食・食文化の情報発信

2. マーケットインの発想で輸出にチャレンジする事業者の支援

- ⑦ リスクを取って輸出に取り組む事業者への投資の支援
- ⑧ マーケットインの発想に基づく輸出産地・事業者の育成・展開
- ⑨ 大ロット・高品質・効率的な輸出等に対応可能な輸出物流の構築
- ⑩ 輸出を後押しする農林水産・食品事業者の海外展開の支援

3. 政府一体となった輸出の障害の克服

- ⑪ 輸出先国における輸入規制の撤廃
- ⑫ 輸出加速を支える政府一体としての体制整備
- ⑬ 輸出先国・地域の規制やニーズに対応した加工食品等への支援
- ⑭ 日本の強みを守るための知的財産対策強化

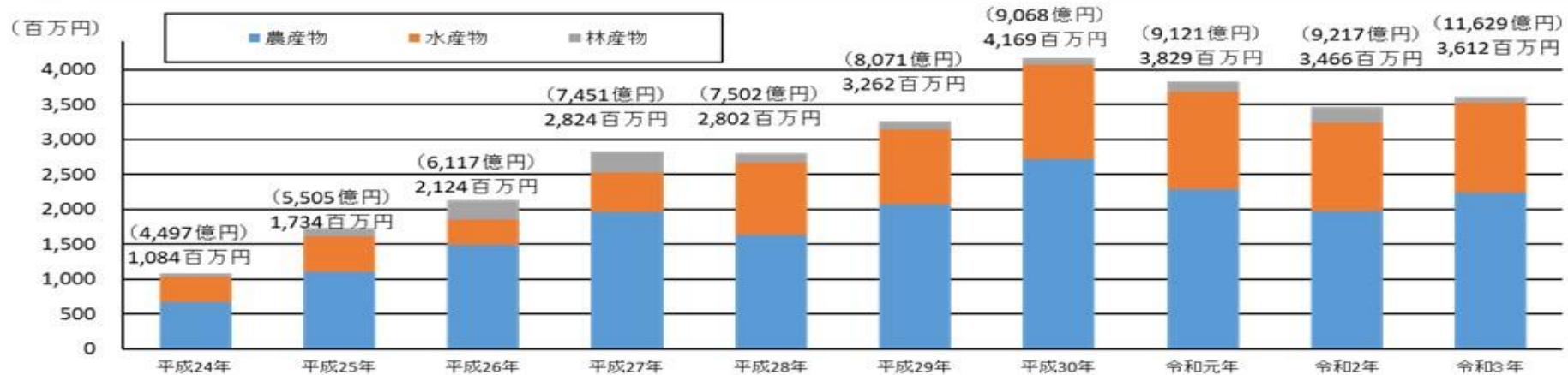
4. 新たな取組を実現するための法制度の見直し

- ⑮ 輸出促進法やJAS法の改正
- ⑯ 輸出拡大に関連した植物防疫法の改正
- ⑰ 金融・税制による幅広い支援

【農林水産物・食品の輸出の現状】⑤

北陸管内からの農林水産物・食品の輸出額

- 令和3年の北陸管内からの農林水産物・食品の輸出額は36億円となり、前年比4.2%増加。
- これらの輸出のうち、農産物は全体の62%で22億円となり、前年比13.2%増加。



※ ()内は全国数値。2020年の(9,217億円)は少額貨物及び木製家具を含まない数値。2021年の(11,629億円)は少額貨物を含まない数値

単位: 百万円

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	前年比(%)	構成比(%)
農産物	669	1,099	1,492	1,955	1,636	2,063	2,722	2,285	1,976	2,236	+13.2	61.9
水産物	359	507	356	575	1,036	1,081	1,340	1,399	1,254	1,287	+2.6	35.6
林産物	56	128	277	294	130	118	107	145	236	88	-62.7	2.4
北陸計	1,084	1,734	2,124	2,824	2,802	3,262	4,169	3,829	3,466	3,612	+4.2	100.0

(注) 構成比合計はラウンドにより一致しない。

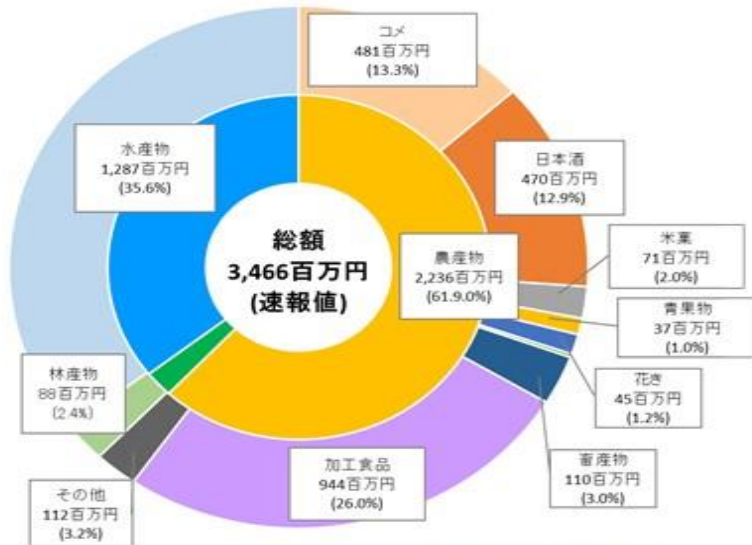
資料: 財務省「貿易統計」を基に、北陸管内の港湾及び空港からの輸出額を北陸農政局作成

【農林水産物・食品の輸出の現状】⑥

- 令和3年の北陸管内からの輸出のうち、コメ・コメ加工品と加工食品で輸出額全体の54%を占めており、農産物全体の輸出額も13%増加。
- 最も輸出額が大きかったのは日本酒で約1億7千万円の増加(うち韓国向けは約1億1千万円の増加)。また、最も減少額が大きかったのは林産物で約1億5千万円の減少(うち中国向けは約1億2千万円減少)。
- 輸出先上位3ヵ国・地域は、中国、韓国、香港で輸出額全体の64%。

令和3年 北陸計

※コメ・コメ加工品及び加工食品の計 1,966百万円
(輸出額全体の54.4%)



資料:財務省「貿易統計」を基に、北陸管内の港湾及び空港からの輸出額を北陸農政局作成
注:ラウンドにより、総額と内訳計が一致しないことがある。

品目別

県名	品目名	令和2年	令和3年	前年比(千円)	前年比(%)
北陸	計	3,466,106	3,611,722	145,616	+4.2
	コメ・コメ加工品	778,968	1,021,822	242,854	+31.2
	コメ	427,161	481,129	53,968	+12.6
	日本酒	300,663	469,563	168,900	+56.2
	米菓	51,144	71,130	19,986	+39.1
	青果物	26,812	36,720	9,908	+37.0
	花き	67,882	44,948	△22,934	△33.8
	緑茶	3,099	7,927	4,828	+155.8
	畜産物	62,121	110,430	48,309	+77.8
	加工食品	924,898	944,078	19,180	+2.1
	その他	112,049	69,998	△42,051	△37.5
	農産物	1,975,829	2,235,923	260,094	+13.2
	林産物	236,132	88,485	△147,647	△62.5
	水産物	1,254,145	1,287,314	33,169	+2.6

品目別輸出先国・地域

県名	品目名	令和3年	輸出先上位3ヵ国・地域					
			1位		2位		3位	
			輸出先	金額	輸出先	金額	輸出先	金額
北陸	計	3,611,722	中華人民共和国	1,029,859	大韓民国	673,734	香港	531,771
	コメ・コメ加工品	1,021,822	大韓民国	339,801	香港	296,850	シンガポール	178,659
	コメ	481,129	香港	219,000	シンガポール	133,888	モンゴル	52,706
	日本酒	469,563	大韓民国	309,282	アメリカ合衆国	65,609	中華人民共和国	62,537
	米菓	71,130	大韓民国	30,519	香港	23,323	台湾	13,110
	青果物	36,720	大韓民国	24,270	ベトナム	12,062	シンガポール	388
	花き	44,948	大韓民国	21,985	台湾	19,089	タイ	2,712
	緑茶	7,927	ロシア	7,927				
	畜産物	110,430	香港	76,933	カンボジア	33,497		
	加工食品	944,078	ロシア	306,048	大韓民国	192,894	マレーシア	165,623
	その他	69,998	大韓民国	69,326	シンガポール	427	ロシア	245
	農産物	2,235,923	大韓民国	648,276	香港	478,910	ロシア	324,828
	林産物	88,485	中華人民共和国	31,234	アメリカ合衆国	30,850	ベトナム	13,413
	水産物	1,287,314	中華人民共和国	819,775	ベトナム	199,455	香港	146,317

【農林水産物・食品の輸出の現状】⑦

R 3 年の北陸管内からの農林水産物・食品の輸出額 (全国との比較)

- 全国の輸出額に占める北陸管内からの輸出割合は約0.3%と低いが、その内訳をみると、全国と比較して北陸管内からの輸出は、水産物の輸出割合が高く、農産物・林産物の割合が低い傾向にある。
- また、農産物の中では、コメ、米菓、日本酒等の割合が非常に高いのが特徴的。

輸出額(全国) 合計: 11,576億円



輸出額(北陸) 合計: 36億円



農産物の内訳(全国)



農産物の内訳(北陸)

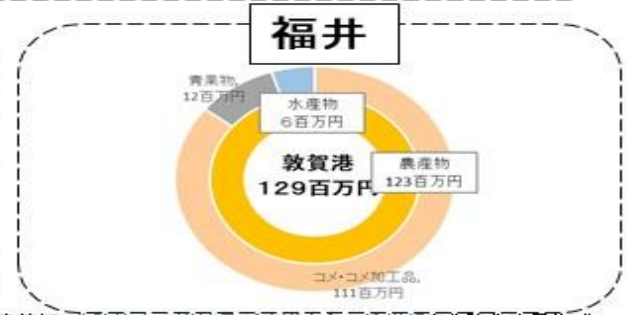
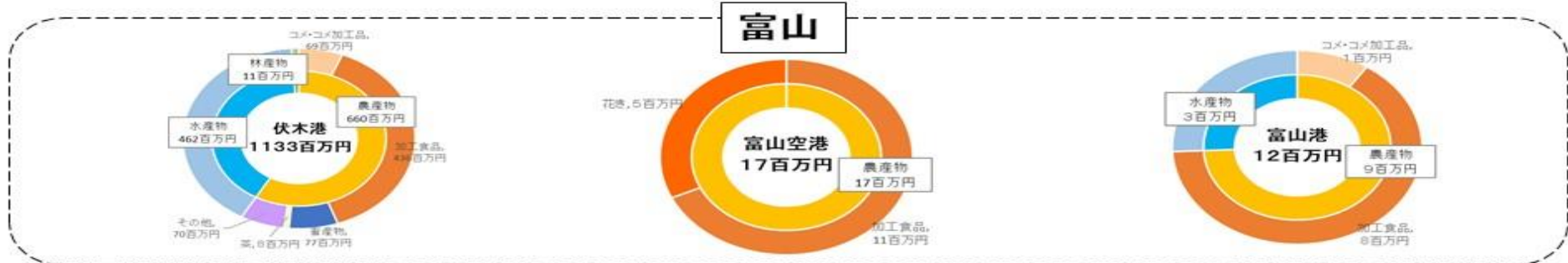
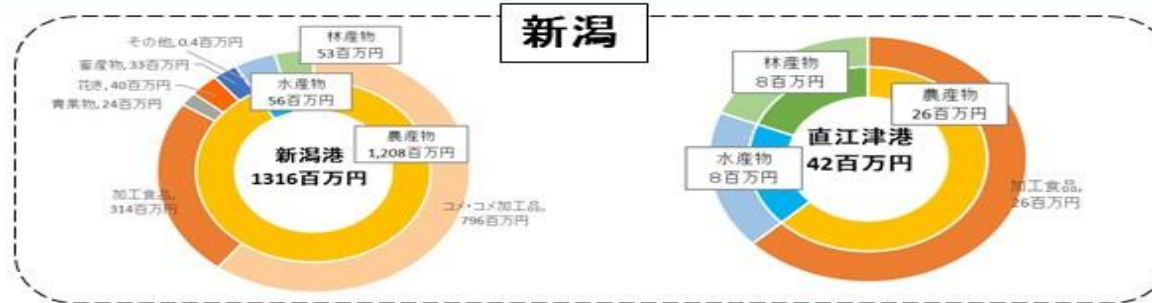


※ 全国数値は少額貨物を含まない数値

資料: 財務省「貿易統計」を基に、北陸管内の港湾及び空港からの輸出額を北陸農政局作成

【農林水産物・食品の輸出の現状】⑧

R 3 年の北陸管内からの農林水産物・食品の輸出額（港湾ごと）



資料：財務省「貿易統計」を基に、北陸管内の港湾及び空港からの輸出額を北陸農政局作成

【農林水産物・食品の輸出の現状】⑪

①

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略に基づく輸出重点品目の輸出産地リスト
(北陸管内4県)

令和3年12月21日時点


品目	輸出産地			実施主体 (輸出事業計画の策定者)		備考
	輸出産地名	産地のエリア・所在地		事業者名	所在地	
		都道府県	市町村			
清酒	株式会社加越	石川県	小松市	-	-	
	合資会社芋理酒造場	石川県	小松市	-	-	
	合同会社西出酒造	石川県	小松市	-	-	
	株式会社鹿口尚彦研究所	石川県	小松市	-	-	
	東酒造株式会社	石川県	小松市	-	-	
	株式会社白藤酒造店	石川県	鯖江市	-	-	
	日吉酒造店	石川県	鯖江市	-	-	
	櫻田酒造株式会社	石川県	珠洲市	-	-	
	宗玄酒造株式会社	石川県	珠洲市	-	-	
	鹿野酒造株式会社	石川県	加賀市	-	-	
	根木酒造株式会社	石川県	加賀市	-	-	
	松酒造有限公司	石川県	加賀市	-	-	
	御祖酒造株式会社	石川県	羽咋市	-	-	
	株式会社金谷酒造店	石川県	白山市	-	-	
	株式会社小堀酒造店	石川県	白山市	-	-	
	株式会社車多酒造	石川県	白山市	-	-	
	鹿口酒造株式会社	石川県	能美市	-	-	
	株式会社富本酒造店	石川県	能美市	-	-	
	株式会社久世酒造店	石川県	津幡町	-	-	
	数馬酒造株式会社	石川県	能登町	-	-	
	株式会社鶴野酒造店	石川県	能登町	-	-	
	松波酒造株式会社	石川県	能登町	-	-	
	株式会社越の磯	福井県	福井市	-	-	
	常山酒造合資会社	福井県	福井市	-	-	
	田嶋酒造株式会社	福井県	福井市	-	-	
	舟木酒造合資会社	福井県	福井市	-	-	
	安本酒造有限公司	福井県	福井市	-	-	
	株式会社小浜酒造	福井県	小浜市	-	-	
	株式会社宇野酒造場	福井県	大野市	-	-	
	株式会社南都酒造場	福井県	大野市	-	-	
	真名鶴酒造合資会社	福井県	大野市	-	-	
	株式会社一本藁久保本店	福井県	勝山市	-	-	
	合資会社加藤吉平商店	福井県	鯖江市	-	-	
	久保田酒造合資会社	福井県	坂井市	-	-	
	黒龍酒造株式会社	福井県	永平寺町	-	-	
	田辺酒造有限公司	福井県	永平寺町	-	-	
	吉田酒造有限公司	福井県	永平寺町	-	-	
	三宅彦右衛門酒造有限公司	福井県	美浜町	-	-	
	新潟麦酒株式会社	新潟県	新潟市	-	-	
	若鶴酒造株式会社	富山県	砺波市	-	-	
総業酒造株式会社	富山県	富山市	-	-		
若鶴酒造株式会社	富山県	砺波市	-	-		
株式会社福光堂	石川県	金沢市	-	-		
株式会社鹿口尚彦研究所	石川県	小松市	-	-		
株式会社車多酒造	石川県	白山市	-	-		
株式会社富本酒造店	石川県	能美市	-	-		
株式会社一本藁久保本店	福井県	勝山市	-	-		
合資会社加藤吉平商店	福井県	鯖江市	-	-		
合板 1産地	林ベニヤ産業株式会社	石川県、 京都府	七尾市、 梶野市	-	-	
計10品目	135産地			14実施主体		



【農林水産物・食品の輸出の現状】⑫

2

「GFP」コミュニティの取組

 農林水産物・食品輸出プロジェクト

■ GFPコミュニティとは？

「GFP」は、農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図るため、農林水産省が立ち上げたコミュニティサイト。登録者の課題解決に向けた支援、登録者間のネットワークの形成、事業者間の商品マッチングを実施。



■ 「GFP」の登録状況 (令和4年1月21日現在)

	登録者数	
	全国	北陸
登録時業者数	5765	266
農林水産物 食品事業者	3238	180
うち、輸出診断 申込み数	1238	77
うち、訪問診断申 込み数	876	50
流通事業者、物流事業者	2527	86

北陸管内における農林水産・食品事業者の登録件数の内訳は、新潟79件、富山42件、石川37件、福井22件。

GFP輸出訪問診断

【新潟の伝統香辛料“かんずり”を米国へ】

(有)かんずり (新潟県妙高市) (平成30年11月28日実施)

平成24年より、新潟県の伝統香辛料である「かんずり」の輸出を開始。主な輸出国は、米国、EU、東南アジア。

現地の商談会での反応から商品動向、消費者ニーズ等を把握するため、現地商談会やイベントに参加して食べ方、使い方を訴求し、販路拡大。

渡航費や出展費用の支援、同業者との情報交換の場を希望。各種商談会やGFPサイトでの情報交換の場等の情報提供実施。



【曹洞宗大本山「永平寺」御用達味噌を世界に】

(株)米五 (福井県福井市) (令和元年7月24日実施)

国内需要の減少を見据え、4年前から自社味噌商品の輸出に取り組む。主な輸出国は、香港、台湾、上海。

輸出担当職員を配置して、商談会等に積極的に参加。現地スーパーや飲食店に間接輸出し、越境ECサイトへ登録し、輸出を拡大。

価格競争に巻き込まれない商品の販売方法等輸出事業の方向性や進め方を模索。永平寺を打ち出した商品アピールや商談会を助言。



3

北陸地域からの効率的な輸出物流の検証

★実証内容★

管内の生産者・食品製造業者との連携により、北陸産の輸出重点品目等を、新潟港と横浜港、富山新港と名古屋港、金沢港と神戸港の各港からコンテナにより混載輸出。所要時間、コスト、品質保持状態などを比較実証し、管内からの高品質かつ効率的な輸出物流の構築を検証（令和4年3月取りまとめ予定）

★委託事業者★

株式会社横山商会

石川県白山市横江町22街区1番
<問合せ先> TEL:076-276-5724

令和3年度
GFPグローバル産地港湾等連携
輸出拡大委託事業（北陸農政局①）



主な輸出産品



バンコク港

レムチャバン港

ポートクラン港

タンジュンペラバス港

シンガポール港

タンジュンプリオク港

タンジュンペラク港

インドネシア

ベトナム

ホーチミン港

カイメップ・チーバイ港

マレーシア

シンガポール

タイ

オーストラリア

ニュージーランド

インドネシア

シンガポール

タンジュンペラク港

インドネシア

オーストラリア

ニュージーランド

インドネシア

4 「世界に売り込め！ほくりく輸出サポートメール」の配信

農林水産物・食品の輸出関連情報をタイムリーにお届けします！

北陸農政局では、輸出促進事業、輸出先国・地域における規制の情報、輸出施策情報など、当局が所掌する輸出関連情報をお届けする「世界に売り込め！ほくりく輸出サポートメール」の配信を行っております。

毎月1回（5日頃）の定期便+臨時便の配信で、最新の情報をタイムリーにお届けしており、農林水産物・食品の輸出に携わっている幅広い関係者の皆様に、輸出促進の一助にさせていただきたいと思っております。


「輸出サポートメール」の主な構成

- (1) 新着情報：報道発表等の最新情報、説明会やイベント等の開催案内
- (2) 補助事業：輸出関連の補助事業情報
- (3) 施策情報：GAP、HACCP、GI、農泊、動植物検疫等の施策情報

お申込みはこちらでも → <http://www.maff.go.jp/hokuriku/food/export/mm.html>



北陸農政局
輸出担当窓口

輸出促進課 
076-232-4233

【農林水産物・食品の輸出の現状】⑮

5

国内外をターゲットとした輸出拡大等の取組

北陸地域の優れた農林水産物・食品の輸出促進に向け、酒蔵がすすめる自慢の日本酒と、それに合う料理やつまみ、器などの日本酒を楽しむための関連品をセットで国内外へ情報発信する。

- 北陸のコメから生まれた食文化を日本酒を中心に紹介することで、農林水産物・食品の更なる輸出の拡大につなげる。
- 英語版、日本語版のリーフレットを作成。
- インバウンドが期待できる施設や海外に向けた商談会・イベント等へ配布。
- 日本語版は食文化の再認識と国内需要の喚起に向けて、北陸のホテル・旅館等へ配布。

石川県版は、平成31年2月発行
 富山県版は、令和元年8月発行
 福井県版、新潟県下越版は、令和2年2月発行
 新潟県中越版は、令和2年9月発行
 新潟県上越・佐渡版は令和3年2月に発行

・編集協力：関東信越国税局 金沢国税局
 関東経済産業局 中部経済産業局

リーフレットで周知

QRコードでアドレスを読み込み

酒蔵、日本酒、おつまみ、器

詳細を北陸農政局ホームページで紹介



【農林水産物・食品の輸出の現状】⑬

北陸地域の輸出取組事例

レストランNOBUをパートナーに、佐渡の酒を世界へ

新潟県 (株)北雪酒造(新潟県佐渡市)

【主な品目】日本酒

【主な輸出先国・地域】 アメリカ、EU、オーストラリア、
中東、他

【輸出実績】 輸出額 15,456万円(令和2年度)

【輸出取組の概要】

地元で農家に呼びかけて酒米研究会を結成し、新たな手法を取り入れた付加価値の高い日本酒を製造。

米国、イギリスなど世界各国に展開する「レストランNOBU」で提供される唯一の日本酒として、世界の食通を魅了。



ゆず果汁、ゆず調味料等を世界各国へ

トナミ醤油(株)(富山県砺波市)

【主な品目】ゆず果汁、ゆずこしょう、ゆずみそ、昆布醤油、
焼肉のタレ等

【主な輸出先国・地域】 オーストラリア、ニュージーランド、
シンガポール、タイ、台湾、中国、USA、EU等

【輸出実績】 輸出額:6,000万円(令和3年)

【輸出取組の概要】

平成20年に県主催の台湾現地バイヤーとの商談会やFOOD TAIPEI(台北国際食品見本市)への出展を経て、同年9月から業務用及び店舗販売向けのゆず調味料等を台湾に輸出し始めたのが始まり。

国際味覚審査機構主催の「優秀味覚賞」に積極的に出品し、商品の品質に対する客観的評価を得ることにより、商品の差別化やブランド力向上に努めた。

令和3年はオーストラリアがコロナの影響でロックダウンしたため8~10月まで輸出がストップしたが、他国への輸出が伸びたため輸出額は前年度を上回るようになった。



世界へ笑顔とおいしさをお届けします

北陸製菓株式会社(石川県金沢市)

【主な品目】ビスケット、カンパン、煎餅他

【主な輸出先国・地域】 中国、香港、台湾、シンガポール、
マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、米国、
カナダ、EU、オセアニア、UAE

【輸出実績】 輸出額(昨対)129.5%、輸出量:218.7t (令和3年度)

【輸出取組の概要】

オンライン展示会や商談会を通じて各国市場を開拓。コロナ禍によるロックダウンの影響を受け、海外小売業での販売不振が続ぎ輸出量が少し減少したものの、海外向け新商品開発や販促イベント実施により徐々に回復。



最新の冷凍技術で冷凍寿司・冷凍丼を世界へ

有限会社 粹(福井県坂井市)

【主な品目】冷凍寿司・冷凍丼

【主な輸出先国・地域】 香港、シンガポール、オーストラリア

【輸出実績】 輸出額:632万円 輸出量:2.7t (令和2年度)

【輸出取組の概要】

現地では作ることができない日本(福井)産の素材を使った本場の寿司を最新の冷凍技術で品質を落とさずに輸出。

平成29年から香港・台湾・シンガポールの日系量販店等で開催される催事販売や香港の居酒屋向けをメインに輸出を開始。

コロナ禍の巣ごもり需要の影響によりec販売向け輸出を開始。



【農林水産物・食品の輸出の現状】⑰

各県における輸出の取組状況

北陸管内各県において、農林水産物・食品の輸出の輸出拡大に向け、重点品目やターゲット国を定めるなど、独自の取り組みが行われている。

注意：輸出額・主な輸出品目等は、ジェトロのアンケート調査や、各県独自のアンケート調査の資料をもとに、北陸農政局が参考例として取りまとめたものであり、各県の輸出額・輸出数量を記載したものではありません。

新潟県

主な輸出品目 水産物（鯉）、コメ、畜産物、キノコ、青果物、等
輸出額 品目合計 R2年度 36.4億円 ← R元年度 36.4億円
(経はR2年1月～12月の累計)
うち、鯉 R2年 25.2億円 ← R元年 26.2億円
うち、コメ R2年度 10.1億円 ← R元年度 9.3億円
主な輸出先国 東南アジア、EU各国、米国、香港、等

輸出方針 米をはじめとする果実、花きなど主要農産物（農産一次品）の輸出額5.5億（H28年度）から約4倍増の20億円（H36年度）を目指す。（新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～）

※輸出額等は、新潟県農林水産部の提供資料により、北陸農政局が取りまとめを行ったもの。

富山県

主な輸出品目 コメ・コメ加工品、日本酒、水産物・水産加工品、等
輸出額・数量 コメ加工品 R2年度 5.4千万円 ← R元年度 3.1千万円
日本酒 R2年度 190kℓ ← R元年度 100kℓ
水産物・水産加工品 R2年度 4.3億円 ← R元年度 1.3億円
主な輸出先国 香港、中国、台湾、韓国、ベトナム、タイ、イギリス等

輸出方針 富山県産農林水産物等品目別輸出促進方針に基づき、①コメ・コメ加工品、②日本酒、③水産物・水産加工品を重点3品目として選定、輸出拡大に取り組む。

※輸出額・数量等は、富山県農林水産部の提供資料より、北陸農政局が取りまとめを行ったもの。

石川県

主な輸出品目 動物性調整食料品、飲料・アルコール・食酢、各種調整食料品、木材類、魚介類、穀物、食用果実、等
輸出額 R2年 18.5億円 ← R元年 23.8億円
主な輸出先国 香港、中国、台湾、タイ、シンガポール、等

輸出方針 少量多品目という生産実態に合わせ、シンガポール、香港、台湾等の富裕層をターゲットに特色ある食材を輸出するルートの構築等に取り組む。

※輸出額等は、ジェトロ金沢による公表資料より、北陸農政局が取りまとめを行ったもの。

福井県

輸出品目 コメ、水産物・水産加工品、農産物・農産加工品、菓子類、日本酒
輸出額 R2年度 13.2億円（アジア）※見込み ← R元年度 11.4億円
主な輸出先国 香港、中国、台湾、シンガポール、タイ等

輸出方針 アジア諸国を重点ターゲットに事業者の商談機会を創出し、アジアへの農林水産物・食品の輸出額20億円（令和5年度）を目指す。

※輸出額等は、福井県による提供資料より、北陸農政局が取りまとめを行ったもの。